

電気式生ごみ処理機ってどんなもの？

主に2種類のタイプがあります。

～電気を使う点は同じですが、電気を使う目的が異なります。～

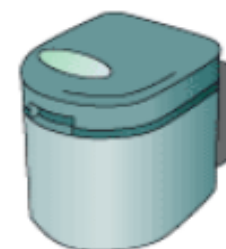
- **乾燥式**（台所に置いて使用）

かくはんしながら電気で加熱し、生ごみを乾燥させて減量します。

たい肥として使用する場合は、

処理物に黒土などを混ぜて2カ月くらい熟成させる必要があります。

（詳細は取扱説明書で確認しましょう）



利用者に
聞きました

乾燥式を利用しているみなさんは、処理物を肥料として使うことは少ないようです。気になる電気代ですが、「処理機に入れる前に小さく刻む」「水分量の多いものは水気をしっかり切ってから処理する」など、ひと手間加えることが電気代の節約につながるそうです。

臭いや音も気にならないため、夜間処理されている方が多いようですよ。

電気式生ごみ処理機ってどんなもの？

主に2種類のタイプがあります。

～電気を使う点は同じですが、電気を使う目的が異なります。～

- **バイオ式** (ベランダ・物置、車庫などに置いて使用)

酸素を好む微生物の活動により生ごみを分解するものです。

ヒーターで保温したり、かくはん装置で通気性を良くするなど、

微生物が活動しやすい環境を維持する仕組みが工夫されています。

生ごみ処理機に「**微生物の入った専用基材**」を入れて処理するため、

処理物は、すぐにたい肥として使用することができます。



使用時の ポイント

生ごみを投入する場合、「大きいもの・長いもの」のほか、野菜の芯や外皮などの「かたいもの」は、小さく切ってから投入しましょう。

機械の故障を避けるためにも、投入してはいけないものは事前取扱説明書で確認を。

※現在、電器店で主に販売されている製品は「乾燥式」タイプのものになります。

利用者にインタビューしてみました！



大島在住
Nさん

「夏場は特に重宝しています。
畑の土もとてもやわらかくなりました。」

- 使用歴 : 約6か月
- 備考 : 使用前は家族が釣ってきた魚のあらや生ごみで毎回何袋もの可燃ごみを出していた。



生ごみを乾燥させた状態

29年4月頃に電気式の処理機を購入。
1回の処理で、三角コーナー3回分ほどの
ごみが5分の1ほどに減り、
パラパラになるのに感激したそう。

処理物はバケツにためて
家庭菜園に運びますが、
保管中の臭いはありません。
台所の隅に置き、夜11時にスイッチを入れると
朝には処理が終わっています。



電気代はどのくらいかかるの？

暑い夏の季節に
Aさん、Bさん、Cさんの
3世帯に協力してもらい、
1週間の電気代使用料を
測ってみました。

世帯人数の近い
BさんとCさんの
電気代の違いに注目。
どのようなものを
どのくらいの量投入するかで
電気代も変わるようですよ。

Aさん (世帯人数1)		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	
	使用回数	1		1				1	
	電気使用料金	16円		23円				21円	
	電気使用量	0.67kwh		0.92kwh				0.83kwh	
Bさん (世帯人数3)		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	
	使用回数	1			1	1			
	電気使用料金	18円			26円	15円			
	電気使用量	0.72kwh			1.06kwh	0.61kwh			
Cさん (世帯人数4)		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	
	使用回数	1	1	1		1		1	
	電気使用料金	64円	58円	62円		35円		71円	
	電気使用量	2.57kwh	2.35kwh	2.51kwh		1.4kwh		2.86kwh	

Cさんに
聞いて
みました

「魚」や「すいか」など、水分量の多いものを処理したことが多かったので、いつもより電気使用量が多かったのではないかと思います。それと、普段から生ごみの量が多いんです。